

平成25年度第二回三重県経営戦略会議

「三重の『人づくり』に関する取組」

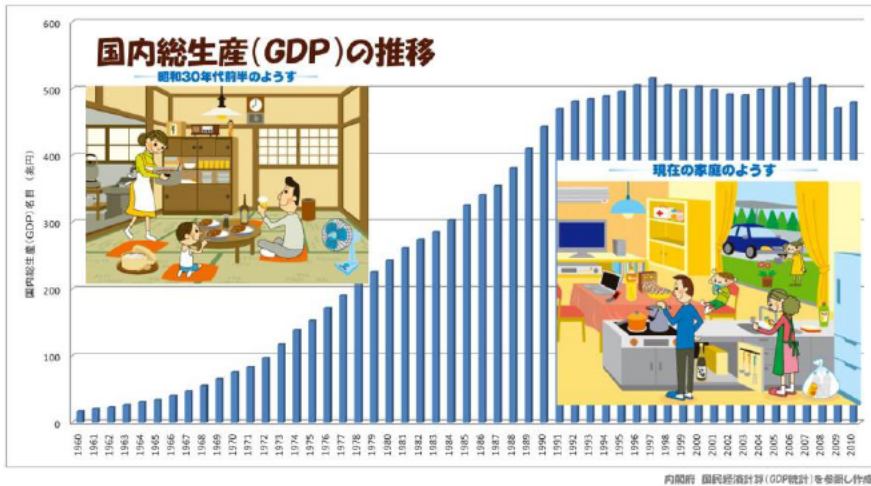
平成25年7月16日(火)

三重大学大学院医学系研究科・教授
三重大学地域戦略センター・センター長
西村 訓弘
(*Norihiko Nishimura, Ph.D.*)

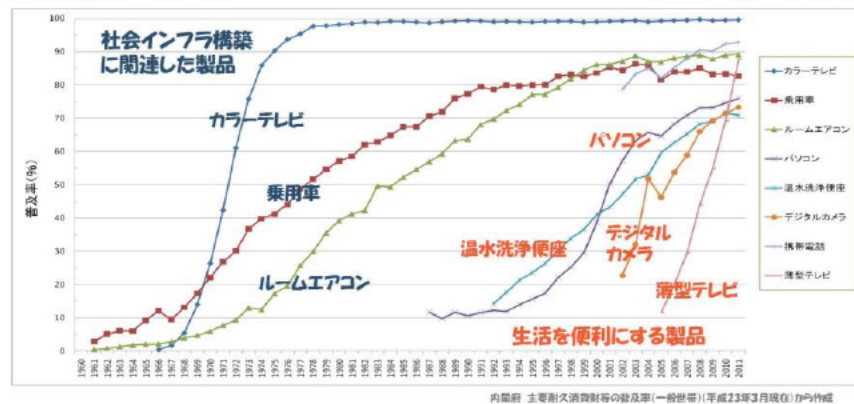
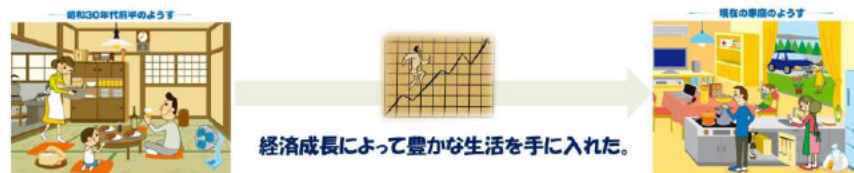


今という時代について

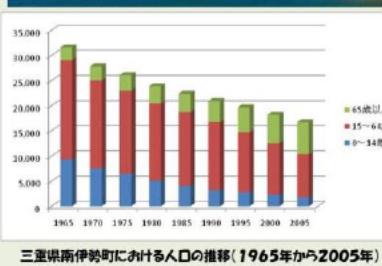
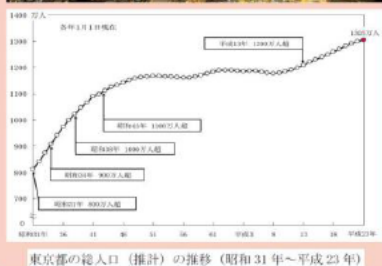
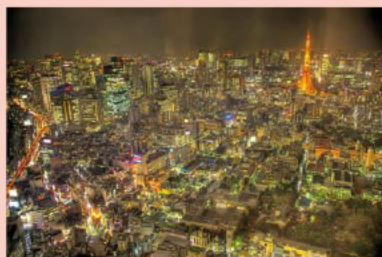
1960年代から国内総生産(GDP)は急激に増加したが、1990年以降横ばい状態となっている。 → **日本経済は成長期から成熟期に移行した。**



主要な耐久消費財等の普及率



高度経済成長が終わっているのに



都市部への人口集中による日本社会の不均衡が拡大し続けている

時代認識

20世紀の経済発展は世界の中でも最も優れた成功であったが、必ずしも地域社会の幸福には繋がっていない。高度成長期に作り上げてきた社会システム(常識)は、良い時期もあったが成長から定常期(21世紀の社会)への変化に適應できていない?

現代社会に求められていること、「21世紀に適した新しい社会システム」を創造すること。

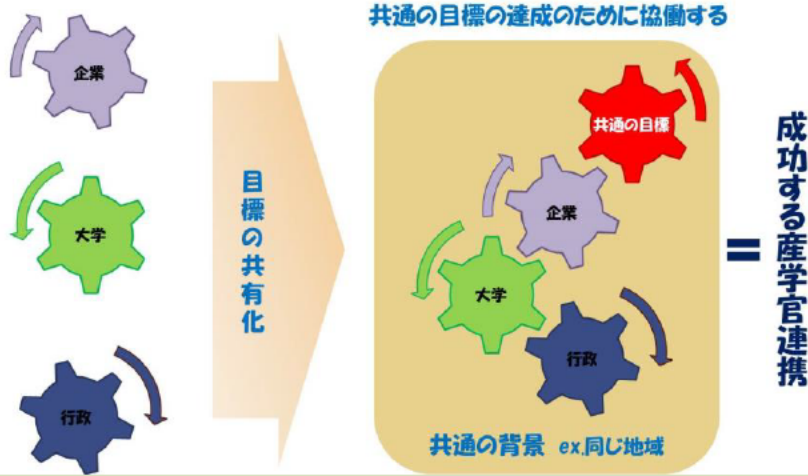
「21世紀への適應」は、「20世紀の高度成長に伴って衰退した地域」から生まれると私は考えている。

実行には、「人」がカギになる

三重大学が進めていること - 産学官連携による地域活性化と人材育成 -

産学官連携について

企業、大学、行政は、単独では目的が異なる存在である。



地域社会と地域企業と地方大学の関係



地域イノベーション学研究科の新設

地域産業界と連携した人材育成と技術開発に特化した大学院

(時代背景)

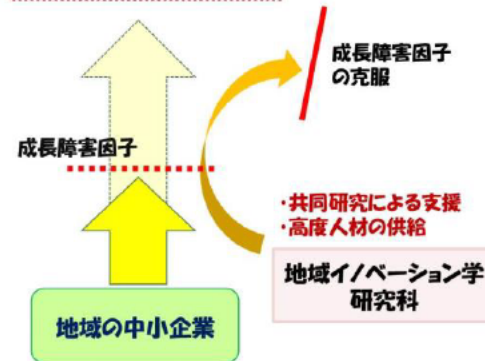
産業界では複数の最先端技術の融合によって新事業・製品が生まれグローバルに展開することが頻繁に起こっており、三重地域圏の企業にも業界の変化に呼応した経営改革(第二創業)が必要となっているが、現実には個々の企業における「研究開発力の脆弱さ」と「人材不足」がその障害となっている。

地域産業界からは、「第二創業に貢献できるような高度人材の育成」と「第二創業の基盤となる新技術構築への協力」が三重大学には求められている。

地域産業界からの期待に応える具体策として「地域イノベーション学研究科」を新設し、地域社会への貢献を実現していく。平成21年4月から開始

地域イノベーション学研究科の目標

地域企業が抱える成長障害因子を取り除くことで、新事業構築(第二創業)を実現させ、地域発のイノベーションを誘発する。



地域イノベーション学とは、

「大学が形成・蓄積してきた研究成果と知識を活用することで、地方立脚型の企業が抱えている成長障害要因を克服するための具体策を探し、産学連携によって地域産業を活性化させるための方法論を見出すことを目標に研究を遂行する学問領域」

三重大学が提案した考え方であり、三重大学が切り開いていく学問領域

地域イノベーション学会を設立した(平成23年7月～)

三重大学が進めていること - 地域を牽引する人材の育成 -

西村ゼミ: 社会人入学の社長学生と普通の学生たちが自由に議論し、新たな気づきを得て自らが伸びることを教えるゼミとして平成18年から開始、現在は月に1度、誰でも参加できる大学ゼミとして西村が主宰。



平成22年頃から拡散している

地域が応援する高校生セミナー: 三重県内の高校生に地域で活躍する経営者の話を聞かせ、地域の良さを知ってもらうとともに、自分のキャリア形成をみんなで議論しながら考えさせるセミナー。年2回開催で、既に11回目実施した。

大台町職員研修(西村ゼミin大台): 大台町からの依頼で、1、2年目の新人職員を対象としたリーダー研修を平成24年度に実施。20年後の大台町の姿とそれを実現するためのプロジェクト案を作成させ、町長にプレゼンすることで、実事業につなげた。

西村ゼミin津高校: 地域が応援する高校生セミナーを受講した津高校進路指導の先生からの依頼で、大学で行っている西村ゼミの高校生版を平成23年度から継続して実施している。自分の将来像を考えさせ、それを実現するために何をすべきかを具体的に考えさせている。

多気町リーダー研修: 多気町からの依頼で、地域の若者を多気町を引っ張っていくリーダー人材として養成することを3年行っており、2年目からの2回を担当した。平成25年からはチャレンジプロジェクト事業として上記リーダー達が行う具体的な地域活性化の取組を指導する。

西村ゼミin信用保証協会: 信用保証協会の若手職員からの依頼で平成24年度から信用保証協会を改善していくために自らがどのように行動すべきかについて考えるゼミとして実施している。

今年度から新たに、
西村ゼミ in 多気町
西村ゼミ in 玉城町
がスタートします。

MIE経営者育成道場の開講

次の時代の三重県産業を牽引する経営者の育成

MIE経営者育成道場には、「基礎講座」と「実践講座」があり、「基礎講座」では、ビジネスの心構えやプランのフラッシュアップを学び起業や経営に対する理解を深めるだけでなく、受講を通して、次の時代の三重県産業を牽引する「経営者仲間(同志)」を作ってください。

「実践講座」では、受講を通じて確固とした経営哲学を習得し、修了生がそれぞれのビジネス領域でのトップランナーとして、また、地域を牽引する経営者として活躍する人材になることを目指してください。



三重県で
新事業展開等をめざす皆様へ

MIE経営者育成道場

入門生募集

開講日 平成24年6月28日(木)

- 受講場所 / 三重大学
(合宿のみ鳥羽市・扇芳園)
- 募集人員 / 20名(実践講座は5~6名)
- 受講料 / 無料(交流会除く)

一代一業
事業をつなぐとは新たな商いを生み出し続けることであり、経営者には常に新たな挑戦が必要です。
本道場では、新たに事業を立ち上げた方、事業を引き継がれた方を問わず、次の時代に向かって挑戦し続ける気概のある方を求めます。

主催：三重大学地域戦略センター
※三重県「新事業創出人材育成事業」受託事業



三重を牽引する人材への教え

的確な世界観を持つこと

見る高さによって見えるものは異なる。

身の丈を伸ばすこと(能力を高めること)で世の中の見え方が変わる。

↓
世の中を理解し、自分の立ち位置(実力)が客観的に理解できる。

↓
進むべき方向(道)が明確に設定できる。



仕上げる経験を持つこと

頂点を極めたものだけが、頂点までの登り方(努力の仕方)が分かる。

どの分野でも良いので一番になる経験(勝った経験)を持つ。

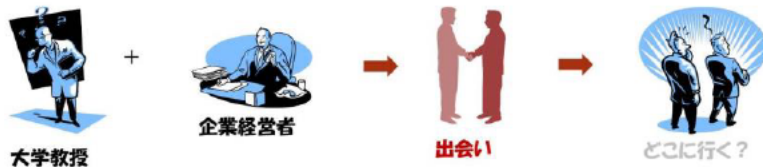
↓
目標に到達したこと(戦える力を身に付けたこと)が明確に理解できる。

↓
的確に自分(チーム)を伸ばすことができる。



コーディネーターではなく、プロデューサーになる

○コーディネーター型(ものごとを調整する人?)



○プロデューサー型(生産者、制作者)



最後に

プロフェッショナルとしての覚悟を持つ

不戦敗をしない